

令和2年度学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 東京都立八王子盲学校 学校運営連絡協議会
- (2) 事務局の構成 主幹教諭(理療科主任兼務)=事務局長、副校長、主幹教諭5名 計7名
- (3) 内部委員の構成
副校長、経営企画室長、主幹教諭6名(教務主任兼務、生活指導主任兼務、幼小小学部主任兼務、中学部主任兼務、高等部主任兼務、理療科主任兼務)、進路指導主任 計9名
- (4) 協議委員の構成
保護者代表2名、地域住民代表1名、学識経験者1名、視覚障害者施設代表1名、医療関係者1名、八王子市教育委員会代表1名、福祉団体関係者2名、雇用促進団体代表1名 計10名

2 令和2年度学校運営連絡協議会の概要

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学校運営連絡協議会、評価委員会ともに、すべて書面開催とした。

- (1) 学校運営連絡協議会(第1～3回)の開催日時、出席者、内容、その他
第1回 令和2年8月17日(月) 内部委員9名、協議委員9名 ※書面開催
委嘱状交付、本校の現状と課題等の説明、学校評価アンケート原案の確認
第2回 令和2年11月6日(金) 内部委員9名、協議委員9名 ※書面開催
学校評価アンケート結果の確認、課題に対する検討部署の確認
第3回 令和3年1月29日(金) 内部委員9名、協議委員9名 ※書面開催
課題取組状況の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
第1回 令和2年8月17日(月) 内部委員3名、評価委員2名 ※書面開催
学校評価の基本方針確認、昨年度の学校評価報告、学校評価アンケート原案の検討
第2回 令和2年11月6日(金) 内部委員3名、評価委員2名 ※書面開催
学校評価アンケート結果の確認、課題検討と検討部署の確認
第3回 令和3年1月29日(金) 内部委員3名、評価委員2名 ※書面開催
課題取組状況の確認、本校への提言

3 学校運営連絡協議会による学校評価(学校評価報告)

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・9月 中学部・高等部生徒 対象：35人 回収：33人 回収率：94.3%
 - ・9月 保護者 対象：43人 回収：43人 回収率：100%
 - ・9月 地域住民 対象：40人 回収：17人 回収率：42.5%
 - ・9月 教職員全員 対象：92人 回収：92人 回収率：100%
- (3) 主な評価項目
「学校経営」、「学習指導」、「生活指導・安全教育」、「進路指導」、「外部対応・啓発活動」
- (4) 評価結果の概要
 - ①学校経営(7項目)
 - ・7項目中6項目で、保護者の肯定的評価が80%以上だった。
 - ・肯定的評価が80%以下だった項目は「教職員のライフ・ワーク・バランスの取組」で、「わからない」の回答が39.5%あり、保護者には教職員の働き方の実態は見えにくく回答しにくい質問となっている。
 - ②学習指導(3項目)
 - ・3項目中1項目で、保護者の肯定的評価が80%以上だった。
 - ③生活指導・安全教育、進路指導(4項目)
 - ・4項目中3項目で、保護者の肯定的評価が80%以上だった。
 - ④外部対応・啓発活動(3項目)
 - ・3項目中2項目で、保護者の肯定的評価が80%以上だった。
- (5) 評価結果の分析・考察
昨年度に比較して全体的に肯定的評価が下がっている。アンケート実施時期を9月に遅らせたが、

1 学期に臨時休校や分散登校があったことが影響しているものと考えられる。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学部間の連携・継続した指導について

寄宿舎との連携については良いという意見のようだが、学部間の連携については不十分と考えられているように思う。保護者が求める学部間の連携とは具体的にどのようなことなのかを調査しなければ改善されないように感じる。

教職員と保護者で、そもそも「在るべき姿」に食い違いがあるのか、または具体的な問題があるのか、把握する必要がある。

(2) アンケートの時期、回収方法について

新入生には、入学してどのようなことを学校に期待するのかを聞くことは大事である。保護者が誰だかわからない方が良いのであれば、回収ボックスの利用も考えられる。気にしないのであれば、むしろ記名していただき、御意見をいただいた方が良い。

(3) IT機器の活用について

現在、IT機器の進歩により視覚障害者のためのコミュニケーション支援機器が様々開発されている。盲学校としての先駆的なコミュニケーション訓練を導入し、視覚障害者にとって情報の不便さを解消する新たな取組に期待する。

(4) 協議会のもち方について

顔を合わせて話し合う機会がコロナのためにもてなかったことは、一番の問題だった。自分自身が他の委員の発言や、発言に対する対応（表情その他）から、どんなに学んでいたかがわかった。会議の時間が限られていても顔を合わせることで伝わる情報は多い。

5 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合（協議委員人数10人）

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
1	4	3	0	0	1	1

6 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、協議委員の来校はなかった。